

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Viento		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 15日		～ 2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2025年 4月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	未就学児から高校生までの児童が共に過ごすことで、異年齢ならではの相互作用が生まれています。年上の児童が自然と年下の児童を気遣い、年下の児童は年上に憧れを抱きながら学びを深めていきます。こうした関係性の中で、児童同士が互いに刺激を与え合い、協力しながら成長する場が形成されています。下の児童との関わりを通じて、かつて自身が経験し切れなかった課題に改めて向き合う機会ともなり、自己成長の再構築を促す環境にもなっています。	活動する時など年下の児童が手助けを必要とする場面ではヘルプの声掛けをしています。 児童同士で摩擦が起きた場合には、職員が間に入り個別または児童同士で話し合いをもち、自分自身、相手の気持ちを確かめ合って交流できる環境づくりを工夫しています。	多機能型だから出来る異年齢の特色を活かした交流をおこない、子ども達同士で学び・考える療育を目指します。
2	活動は児童の興味・関心を基軸に構成されており、週に一度は児童が自ら活動を提案する機会を設けています。自ら提案した活動に取り組むことで、児童は自律的にルールを守り、時間管理を意識しながら行動する力を身につけています。加えて、児童が創作した遊びを活動として実施することもあり、創造性と社会性の育成が見込まれます。	提案用紙を設置しています。設置用紙の中身では、希望する活動には何が必要なのかもかけるよう工夫し子どもたちが考えて企画出来るように工夫しています。 長期休みなどでは、時間をかけてできる活動を子ども達が主体的に計画し参加できるよう、事前に話し合う機会を作りながら実施をしています。	今後も児童が自分らしさを実感し主体的に発信ができ、成長できるような活動を企画します。 そして、互いの興味・関心を互いに認め合い楽しむことが出来るような集団を目指します。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別面談などで職員と保護者とのコミュニケーションは取れているが、保護者会といった保護者同士のコミュニケーションの場が作れていないです。	面談やイベント案内の中で保護者との日程調整(時間帯)が厳しい現象があります。	開催月の早めの計画、案内の告知の工夫など改善できる点を話し合い実施いたします。祖の中で、保護者のニーズの確認もおこないイベントなどを活用し保護者が参加できる機会を増やしていきたいです。
2	活動の基本的プログラムはあるが、保護者に対し日々の活動内容の事前周知が不足しています。		カレンダーなど、活動内容を入れた便りを配布します。保護者あての案内や配布の工夫により、活動プログラムのみならず、ペアレントトレーニングなどの児童に向けた勉強会への興味や参加も増えるのではないかと考えています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Viento
------	--------

公表日 2025 年 5 月 30 日

利用児童数 2025 年 3 月 31 日 2名 回収数 2名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1				1	保育所等の交流は行っておりませんが今後も活動で地域のイベントや児童センターでの交流・体験の機会を増やしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1			ペアレントトレーニングに参加したことがない。	ペアレントトレーニングなど勉強会を開催しておりますが、保護者への周知方法について改善いたします。案内の際は、内容を分かりやすくし又参加しやすい日程調整を行いながら実施継続をいたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1				1	父母会は、参加したことがありません。全体の保護者会は行えていません。今後は職員と保護者、また保護者同士のつながりを支援していけるよう努めます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2						
非	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					2	忘れました。各マニュアルを策定しております。職員間での情報共有を実施し、防犯や感染についての知識を活動に取り入れるなどしながら保護者への周知に努めていきます。

常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				2	定期的な災害時避難訓練を実施しております。実施した際は保護者メール等で報告を行っていますが、避難訓練の実施の周知については周知方法の工夫に努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2				いつも、保育園の登園より楽しみしています。児童の健康状態、活動プログラムへの参加の様子を観察しながら職員からの声掛け・言語化をすることで、気持ちを表現しやすい環境づくりに努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 5月 30日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		児童を安全に見守れる環境をつくるために業務の効率化とスケジュール管理の強化の徹底に努めているが、個々の対応が必要な時、児童へ手厚い支援がしにくい日もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			キッチンのエリア環境は整備の必要があり、物品の配置等を工夫し、児童が安全・快適に過ごせるよう十分なスペースの確保、環境調整を実施します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		適宜、子どもたちの状況に応じて模様替えや配置換えを行っています。	日々の清掃について子どもたちも一緒に取り組めるようにします。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			必要に応じた部屋や場所の使用を備えており、利用する児童、他の児童に使用にあたる説明を行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎日始業と必要に応じてミーティングを実施し申し送りを徹底しています。	フルタイム職員、パートタイムの職員にとっても共有できるように申し送りのノートや業務連絡を継続します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			自己評価をもとに業務改善に向け話し合い、実施します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		第三者による外部評価は現在行っておりませんが、法人の理事会との連携を予定しております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		組織体制の構築のため法人内研修は実施しておりませんが、ミーティング時に専門職種の見解を確認して進めています。必要な研修においては業務調整をおこない参加してもらっています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			事業所ホームページにて公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月1回、来月の活動プログラムを立案し、掲示しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		5領域を意識した活動、色々な活動プログラムを立案しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2		活動の流れや役割の話合いが必要です。職員の勤務時間（パートタイム）によっては十分な打ち合わせができない日があり月1回の会議で行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			朝のミーティングにて共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		関係機関と連携した支援を行う体制は整っていますが、難しい場面もあります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		インクルージョン推進の観点から支援を行えるよう努めてますが、対象児童も1人～2人となっており実施できていないです。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		できるだけスムーズに移行できるよう保護者の意向も踏まえながら積極的に情報共有を行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		機会を設ける事ができていないため、関係機関との連携の一つとして機会を作れるよう努めます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		利用児童の件で児童センターへ何う事はあるが、ともに活動する機会がない状況です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			事業所での様子は公式LINEを活用し保護者への報告をおこなっています。。相談や細かい申し送りについては電話でやりとりを行っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6				
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			モニタリング、個別で保護者との連絡、ペアレントトレーニング、事業所で面談を行います。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		夏祭りのイベントやペアレントトレーニングでの交流はあるが、保護者会についてはコロナ明けに実施していろいろ出来ていません。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		HPやSNS、メール等を活用しながら継続的に発信いたします。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		対象児童が不登校の子も多く地域住民を招待というものの企画が難しく、子どもたちの状況に応じながら検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		災害訓練の実施を増やしたり、マニュアルを活用し周知していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		児童の健康状態は、検温や顔をみて確認をしています。服用が必要な児童、てんかん発作などの持病のある児童は現在おりません。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		食べ物アレルギーなど医師の指示書が必要な児童は現在おりません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		その都度、職員間で申し送りを行い、環境の改善点がないか検討を行います。。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2		現在、対象事例はありません。 重要事項説明書等に説明掲載をしています。